

モートンイトトンボ

Mortonagrion selenion

兵庫県：B

環境省：準絶滅危惧（NT）

種の概要

腹長17～24mm、後翅長11～16mm程度。♂は胸部が黄緑色で黒斑があり腹部後半は橙赤色。♀は未熟個体では橙黄色で無斑であるが、成熟すると緑色となり腹部背面に黒条が現れる。平地から低山地の草丈の低い抽水植物が繁茂した湿地、休耕田、水田横の溝などに生息する。成虫は5月～9月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、伊丹市、豊岡市、加古川市、宝塚市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、加東市、猪名川町、稲美町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○	○			○

特記事項

AランクからBランクに変更

豊岡市のコウノトリの野生復帰事業の関連で日当たりのよい湿地が多くつくられ、無農薬、減農薬での水田耕作、休耕田の水位維持などの管理が行われ、安定的に多数が生息している場所が見つかっている。しかし他の地域では、湿地や休耕田が乾燥化したり、放棄水田の遷移が進んだり、また農薬使用による水田生態系の攪乱によって、生息環境が悪化している。現在は自然湿地よりも半人工的湿地に生息している例が多く、農業施策や公園管理のあり方によって個体群が影響を受ける。

保護上の留意点

生息する湿地や休耕田では、水がなくならないように管理すること。